

bubo

「新しい」モノを、「良い」モノに。



品質の課題は、なぜ繰り返されるのか

多くの開発現場では、品質に関する取り組みが行われているにもかかわらず、同じような課題が何度も繰り返されます。



毎回「最後」で品質が問題になる

もっと早く気づけたはずだと思いつながりながら、同じ場面を繰り返していませんか？



判断の理由が人によって違う

正解が分からず、経験や立場に頼った判断になっていませんか？



どんなデータを取ればいいのか迷う

必要そうだから集めているものの、判断にどう使うのかは曖昧なままになっていませんか？



改善しているはずなのに繰り返す

ふりかえりや対策をしても、同じような話をまたしていませんか？

これらは、テスト手法やプロセス単体の問題ではありません。

行動は変えても判断の前提が共有されていない、プロセスはあってもチームの理解が揃っていない、データはあっても次の行動につながらない。

私たちは、こうした問題を個別の施策ではなく構造の問題として捉えます。

品質は、4つの視点で捉え、構造として整理します

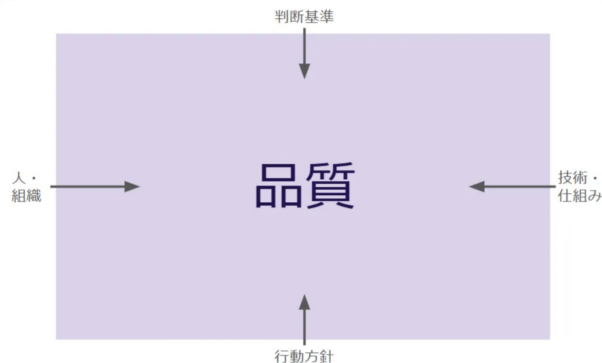
品質は、テスト工程や手法だけで決まるものではありません。

人の関わり方、判断のされ方、仕組みのあり方、日々の行動。それらが組み合わさって、はじめて品質として表れます。

品質を捉えるための4つの視点

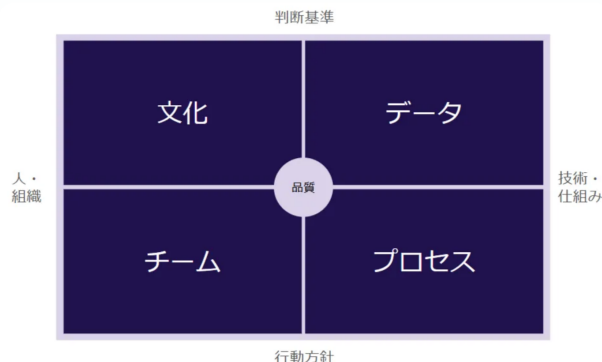
私たちは、品質を一つの観点で単純化せず、次の4つの視点から捉えます。これら是对立する軸ではなく、品質を異なる角度から照らすための視点です。

- 人・組織：誰が、どのような関係性で品質に関わっているか
- 技術・仕組み：どのような仕組みや技術が品質を支えているか
- 判断基準：何を基準に、どのような判断が行われているか
- 行動方針：実際にどのような行動が取られているか



4つの視点を組み合わせた、品質の構造

これら4つの視点を組み合わせて品質を整理すると、品質の構造は次の4つの領域として捉えられます。各領域は、品質問題の現れ方と改善の切り口を示します。



文化

判断の前提や優先順位が共有されているか。



データ

兆候や事実をもとに判断できているか。



チーム

品質に関わる行動が役割を越えて取られているか。



プロセス

品質を守る行動が流れとして組み込まれているか。



品質に向き合う、人と場

品質への向き合い方に、唯一の正解はない。

— それぞれの視点が交わり、語られ、重なっていく — その積み重ねが、buboという場を育てています。

メンバーの品質への想い

「品質は手段より、
人と文化から」

「やらされる品質では、
誰も救えない。」

「細部が信頼を作る。」

活動実績

社内活動

サークル活動	セキュリティ研究会 近年ますます重要性が高まるセキュリティについて学び、知識を深めながらCTFなどの大会への参加も予定！
	体験ワークショップ 主催者・参加者がともに対話と体験を通じて学び合うワークショップを開催！（パターンランゲージ、免疫マップ etc）
	動画視聴会 別案件メンバーとの「共通の時間」として動画視聴会を開催し、共通のキーワードや価値観を少しずつ育んでいます！
広報活動	no+e工房 QAやテストに関する知識を、解説漫画や用語紹介といった親しみやすいコンテンツにして発信中！
	イベント企画隊 手を挙げたエンジニアが自発的に集まり、スポンサー活動などを企画から運営まで協力して手がけています！

社外活動

実行委員 登壇	JaSST Kansai ginjiro ベイ ハシカズ いわたま 「仕事なのに楽しいって、ズルいですか？」 おのりょー 「ふりかえりが、"生存報告"から"未来の話"に変わるまで」
	JaSST Tokai ハシカズ 「テスト業務におけるペアワークの実例と効果について」
	JaSST nano ハシカズ かずのり 「JCSQEに合格したの - どんなことをやったの？」 ginjiro 「やらないといけない気がしてやってしまうことをやめる方法についての話なの。」 <i>and more...</i>
	テスト設計コンテスト ginjiro
	testingOsaka ベイ ハシカズ ハシカズ 「テスト（活動）はコンテキスト次第」
	DevOpsDays Tokyo ベイ ベイ 「データ分析パターン言語の実験：課題の本質を見極めるアプローチ」
	XP祭り いわたま 「QAtoAQパターンの活用事例」 ハシカズ 「スクラム導入の舞台裏：QAエンジニアがスクラムマスターになるまで」
	スクラム祭り ベイ 「チームのアウトプットを最大化する、品質を支える"なんでも相談窓口"的な関わり方」 ハシカズ 「チーム変革のためにスクラムマスターを学んだら、自分が変わってチームも変わった」
	スマートエスイーセミナー アジャイルアーキテクチャと品質 いわたま 「QA to AQパターンの活用事例と効果」

no+e

no+eにて発信活動を行っています。

漫画で学べるJSTQBの解説や、現場で使える実践的ノウハウなど、毎週お届けしています。

コンテンツ紹介



ゆるっとマンガで学ぶ
JSTQB 単語帳

ゆる単語帳
つまづきやすいテスト用語を、サクッと楽しく覚えられる「4コマ漫画」で解説

[▶ 記事を読む](#)



本格漫画で学ぶ
JSTQB Foundation

本格漫画で学ぶJSTQB
直感的に、ストーリーでテストのプロセスを理解できる、JSTQBの本格解説漫画を連載中

[▶ 記事を読む](#)



美容好き
QAエンジニアが自作してみた
メガ割攻略
スキンケアチェッカー

Skincare Checker

体験談や日々の挑戦話
現場の体験談や、メンバーが日々挑戦しているスキルアップの裏側などを発信

[▶ 記事を読む](#)



宇宙に関するすべて
bridging Japan and the World's Space

第3回 スペキサ
SPEXA
国産 宇宙ビジネス展

QAが見た、
宇宙とAIの未来

イベントレポート
新しい品質保証の可能性を探るため、様々なイベントに足を運んだレポート記事をお届け

[▶ 記事を読む](#)

フォローお待ちしております！



note

上記のほかにも様々な記事を投稿中です。ぜひチェックしてみてください。

note.com/bubobubobubo



X

QA体験バグ探しクイズなどを投稿しています、ぜひ覗いてみてください。

x.com/buborerik

6つのソリューション

01 スクラムテスト

開発とテストを一体化し、アジャイル開発を加速

早期フィードバックでバグの手戻りを防ぎ、スプリント内で品質を作り込む体制を構築。

アジャイル

シフトレフト

CI/CD

02 プロジェクト・ランゲージ

判断や学びを言葉で共有、属人化を防ぐ

チームの暗黙知を「共通言語」として形式知化し、継続的な改善が自然に進むチームを育てる。

属人化

ナレッジ共有

チーム育成

03 データ駆動型品質改善

品質課題を可視化、データで意思決定

品質データを判断に使える形に整理し、早期発見と継続的な品質改善を実現する。

品質メトリクス

可視化

意思決定

04 QA to AQ

アジャイル開発にQAを組み込む

サイロ化した開発プロセスにQAを統合し、品質を後追いにしない開発プロセスを実現。

プロセス改善

アジャイルQA

組織変革

05 QAのROI

QA活動の価値をROIで可視化

活動と成果を因果関係で整理し、QA改善を「投資判断できる活動」へ進化させる。

ROI

KPI

経営判断

06 AI×コンテキスト駆動型テスト

現場の暗黙知をAIに活かす

レビュー議事録や不具合履歴をAIの判断基盤とし、仕様外もカバーする厚みのあるテストを実現。

AI活用

テスト生成

暗黙知

お気軽にご相談ください

「こんな課題がある」だけでOK。まずは壁打ちから始めましょう。



相談窓口

1 壁打ち

お悩みをお聞かせください（無料）

2 深掘り

構造を一緒に整理します

3 レポート

改善の方向性をご提案します

株式会社bubo | <https://www.bubo.inc>

テストを請け負う会社ではありません。品質が育ち続ける状態をつくる——それがbuboの仕事です。

JSTQB Foundation Level 保有率 100% | Advanced Level 保有率 57%

Copyright © bubo Inc. All rights reserved.

